

1 学校教育目標

○やさしい子 ○かしこい子 ○たくましい子

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	◎やる気いっぱい やさしさいっぱい やりとりいっぱい 中川東小 ○子供たちにとって大好きな学校、未来に亘って居場所となる学校 ○教師にとってやりがいをもって教育に邁進する学校 ○保護者や地域の方々にとって誇りに思う学校
○児童・生徒像	◎やさしく かしこく たくましい子 ○誰とでも仲良く分け隔てなく接する子 ○よく考え、すすんで学ぶ子 ○心身を鍛え、様々なことに挑戦する子
○教師像	◎子供たちを愛し、子供たちを伸ばし、教育への情熱を燃やす教師 ○常に子供の心の傍にいて、一人一人の子供のよさや可能性を最大限に伸ばす教師 ○「教師は授業が命」と授業づくりに熱心に取り組む教師 ○豊かな感性としなやかな対応力をもち、人間味あふれた教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

[学校の現状]

- 児童について 素直で優しい児童が多い。人とかかわる活動を楽しんで行うことができる。また、与えられた課題には一生懸命に取り組む姿が多く見られる。さらに、自ら課題を見つけ解決していく力を育てていきたい。
- 教師について 若手教員と若手を育てるベテラン教員とが共に「チーム中川東」として、児童の視点を大切にした教育活動を推進している。常に児童と共にある教師集団であり、「教師は授業が命」を合言葉に授業力向上に切磋琢磨している。
- 保護者・地域について 地域の温かさに包まれている学校である。「PTA」「開かれた学校づくり協議会」等を中心に、積極的に教育活動に協力いただいている。令和元年度の創立40周年記念事業の大成功が、学校・保護者・地域の一体感をより一層強くしている。

[前年度の成果と課題]

- 教員の授業力向上を通して、児童の学力向上を図る。
 全校的に学習意欲の向上が見られ、どの学級も落ち着いて学習に向かう姿が見られた。授業の充実・個に応じた指導・家庭学習の徹底を学力向上のトライアングルと掲げ、徹底して継続してきたことが実を結び始めている。区学力調査では目標通過率84.9%（昨年度比6.3%）を達成し、数値の上からも学力向上の成果を感じることができる。校内研究「道徳」における話し合い活動を通して、自分の考えを語れる子・友達の考えと比べられる子が増えた。様々な発表の機会をノー原稿で経験する場を踏み、すすんで楽しみながら表現する子も増えている。引き続き基礎基本の定着に力を注ぎながら、「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善に努めていく。

○児童が安心して学べる教育環境を整える。

「一人一人を大切にする教育」は本校の教育方針の根幹である。特に人とのかかわる楽しさを存分に味わうことが生きていく力になると考え、学校行事・集会活動・縦割り班活動に力を入れてきた。少しずつ緩和される感染対策の中、全校児童による運動会・工夫をしながらの縦割り班活動を行ったことは、大きな成果である。学校生活を楽しんでいる児童が大変多い。不登校も昨年度より激減した。(1月まで不登校0名。)いじめの早期発見・早期解決にも努め、いじめ解決率は100%である。引き続きいじめを絶対に許さない校風を維持していく。全校的な自己肯定感の高まりを礎に、学校が子供たちの居場所であり高め合える場となるよう、引き続き充実した教育活動を力強く展開していく。

○保護者や地域と共に児童を育む学校づくりを進める。

児童の活躍する姿を見たいという保護者の思いに精一杯応えた一年間であった。相変わらず制限のある中ではあったが、できる限りの工夫を凝らして学校行事や授業公開を実施し、参観を促してきた。その成果あり、保護者とのコミュニケーションが深まり、心の通った連携が築かれていることを手ごたえとして感じることができる。忙しく働いている家庭が多い中、「共に育てていく」という土壌を耕し、保護者・地域と心をつなげた学校経営を行っていく。「開かれた学校づくり協議会」や近隣教育施設との連携が、コロナの収束とともに徐々に復活していくことを心から願いたい。新年度新たに導入される情報発信ツールを上手に活用し、学校からの情報発信が質量ともに充実するように努めていく。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R3	R4	R5	R6	R7
1	学力向上アクションプラン ～教員の授業力向上を通して、児童の学力向上を図る～	○	○	○	○	○
2	児童が安心して学べる教育環境を整える。	○	○	○	○	○
3	保護者や地域と共に児童を育む学校づくりを進める。	○	○	○	○	○
4						

5 令和5年度の重点目標

重点的な取組事項－ 1		学力向上アクションプラン			
A 今年度の成果目標	達成基準 (目標通過率)	実施結果 (通過率結果)	コメント・課題		達成度 ◎○△●
児童の学力向上を図る。	令和 5 年度区学力調査 目標通過率 80%以上 2 月実施の定着度確認テスト で目標値を通過する対象児童 80%				
B 目標実現に向けた取組み					

新・継	アクション プラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
継続	校内研究による 教員の授業 力向上	全教員・ 全児童 算数	研究授 業(6回) 研 究 発 表会(「開 かれた学 校づくり 協議会」・ 近 隣 小 学 校へ)	学力向上に直結する教員の 授業力向上を図る。 ・「主体的・対話的で深い学 び」に向けた授業改善 ・話し合い・交流で自分の考え を深める授業展開 ・解き方を説明する力の育成 ・書く力の育成(全国学力) 週1回100文字作文	児童アンケート 教員アンケート 全国学力調査 都・区学力調査	・R5 全国学力調 査にて記述式 無答率0% ・区学力調査に て目標通過率 80%以上			
継続	ICT 機器の 活用	全学年 全教科	毎日 (家庭 学習も 含む。) 通年	ICT 機器を活用した主体的・対話的で深い学びの視点 からの授業改善を行う。 ・双方向型の一斉授業充実 ・リアルタイムの考え共有 ・調べ学習の充実 ・A I ドリルの活用	児童アンケート 教員アンケート タイピングテスト	・1日1回タブ レットを用い た授業を実施 した教員 90%以上 ・発達段階に応 じた家庭への 持ち帰り 週2~3回 毎日			
継続	読書環境の 充実	全学年 国語 総合等	年3回の 読書月 間 通年	読書環境の充実を図り、本に すぐ手を伸ばす子を育てる。 ・国語関連図書の充実 ・「図書館を使った調べる 学習コンクール」への 応募 ・ビブリオバトルの実施 ・本の展示を中心に据えた 教室環境 ・速読・多読の勧め	読書量調査 コンクールへの 応募数	・読書量調査で 目標を達成 する児童 90%以上			

継続	家庭学習の徹底	全学年 主に国語と算数 自主学習（2年生以上）	毎日 キャンペーン 年10回	授業の充実・個に応じた指導・家庭学習の徹底は学力向上のトライアングル。より一層の家庭学習の徹底を図り、学力向上につなげる。 ・年10回の「家庭学習キャンペーン」の実施 ・自主学習の取り組み強化 児童・保護者の意識向上 ・自学ノートコンクール	宿題提出状況調査 年3回 自学ノートの点検・相互評価	・宿題提出率 100% ・自主学習提出率 90% ・学校評価アンケート 肯定的回答 90%以上			
継続	花丸教室（放課後補習教室）	全学年 目標値を達成していない児童 正答率75%未満 国語と算数	毎週 火・木曜日 放課後30分間	一人一人のつまづきに応じた個別指導を徹底し、苦手意識の早期解消を図り学習意欲を喚起する。 ・全教員による全校体制 ・教材は、プリント・ベシックドリル・『論理エンジン』を使用 ・学力ポートフォリオによる指導内容の精選	定着度確認テスト（2月実施） 教員自己評価アンケート	・定着度確認テストで目標値を通過する対象児童 80%以上 ・教員自己評価 肯定的回答 85%以上			
継続	パワーアップタイム（朝学習）	全学年 国語算数	毎週 火・水曜日 始業前15分間	反復練習により学習内容の基礎基本の定着を図る。 ・一日の学習のリズミカルなスタートの習慣化 ・5分間で取り組める読解問題中心の教材を活用 ・主に担任と副担任で行う。	毎回のドリルの自己採点・記録	・毎回のドリルの正答率 85%以上			

重点的な取組事項－２		児童が安心して学べる教育環境を整える。			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
児童にとって安全・安心な学校生活を充実する。		学校評価アンケート「安全・安心に関する項目」：肯定的回答 90%以上			
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
子供の心を育てる 教育活動の充実	「生活指導・特別活動に関する項目」： 肯定的回答 90%以上	・人権教育の徹底 ・道徳教育の一層の充実 ・「人とのかかわる活動」の意図的・組織的展開 ・縦割り班活動の充実 ・気持ちのよい挨拶の徹底			
いじめのない 学校生活の充実	いじめ解決率 100%	・いじめを許さない校風醸成 ・いじめの起こらない学年・学級経営の展開 ・早期発見・早期解決 ・HyperQ-U 検査の活用（2 回）			
安全・安心な 学校の整備	「学校施設の安全に関する項目」： 肯定的回答 90%以上	・日々の施設点検の徹底 ・花があふれる環境づくり ・学習成果の掲示の充実			

重点的な取組事項－３		保護者や地域と共に児童を育む学校づくりを進める。			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
保護者や地域との連携を図り、共に児童を育む教育活動を充実する。		学校評価アンケート「家庭や地域との連携に関する項目」： 肯定的回答 90%以上			
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
保護者との 共育体制の確立	学校公開参観率 85%以上 学校行事参観率 95%以上 登校見守り参加率 90%以上	・授業公開の内容充実 ・通信・HP・学校メールによる情報発信の充実 ・感想アンケートによる双方向の情報共有			
「開かれた学校づくり協議会」を中心とした地域との連携強化	「家庭や地域との連携に関する項目」： 肯定的回答 90%以上	・創立 44 周年の歩みの共有 ・協議会内におけるコミュニケーションの充実 ・避難所開設・運営における協力体制の強化			
子供の夢を育む 周辺教育施設との 連携強化	「幼保小中高との連携に関する項目」： 肯定的回答 90%以上	・こども園・保育園との日常的交流の充実 ・小中連携の強化（学びのスタイルや自学の統一） ・足立東高校との連携復活（吹奏楽・陸上・挨拶等）			